

氏名	國澤尚子	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	基礎看護学、看護人間工学				
学位	博士（工学）				
学歴	1985年埼玉大学教育学部、88年東京女子医科大学看護短期大学、97年筑波大学大学院教育研究科修士課程カウンセリング専攻カウンセリングコース、2009年博士（工学）取得（千葉工業大学）				
経歴	1992東京女子医科大学看護短期大学助手、98三重県立看護大学助手、99埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師、2006埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科准教授、13医療生協さいたま地域社会と健康研究所副所長兼主任研究員、19埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科教授				
所属学会（役職）	日本看護技術学会（評議員）、日本人間工学会（第7期代議員、第21期関東支部委員）、看護人間工学会（評議員、総務委員）、日本看護学教育学会、日本看護科学学会、日本保健医療福祉連携教育学会、福祉のまちづくり学会、産業保健人間工学会、日本健康教育学会（代議員）、日本公衆衛生学会、日本認知症ケア学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	新看護学8 基礎看護〔4〕臨床看護総論第16版、第2章疾患の経過と患者の看護、第3章さまざまな場における看護、第4章D消化器症状を示す患者の看護	共著	あり	医学書院；P.279	新村洋未、 <u>國澤尚子</u> 、武田美津代、木村伸子	2022.1
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	都市部の診療所看護師が有するコンピテンシーとその構造	共著	あり		宮城大学研究ジャーナル、1巻2号、36-45	<u>國澤尚子</u> 、丸山優、畔上光代、水間夏子、辻玲子、大塚真理子
2	壁から飛び出したトイレ手すりのその後	単著	なし		看護人間工学会誌、Vol.3、1-3	<u>國澤尚子</u>
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	認知症の人とその家族を支援する専門職の連携実践能力	共同		第22回日本認知症ケア学会（Web配信）	桂晶子、成澤健、出貝裕子、中込詩織、萩原潤、徳永しほ、 <u>國澤尚子</u> 、丸山優、畔上光代、大塚真理子	2021.6～9
2	コロナ禍における基礎看護学領域での移動技術教育の工夫	共同		日本看護技術学会第19回学術集会、名古屋市（交流セッション）	西田直子、水戸優子、若村智子、平田美和、首藤英里香、富田川智志、 <u>國澤尚子</u>	2021.10
3	壁から飛び出したトイレ手すりのその後	単独		第3回看護人間工学会学術集会、越谷市（会長講演）	○ <u>國澤尚子</u>	2021.9
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究B）			認知症高齢者と家族の質の高い継続的な暮らしを目指した研修の社会実装と評価	研究協力者	2018.4～2022.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			痛予防対策指針をふまえた看護基礎教育における移動技術教育プログラムの普及と実装	研究分担者	2020.4～2023.3
3	共同研究（埼玉県立大学・ナカ工業株式会社）			在宅高齢者・障がい者の排泄を支援する住宅トイレ補助具の研究	研究代表者	2021.4～2022.3

4	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	高齢者の外反母趾・浮き趾による転倒予防のためのエビデンスに基づく看護介入の効果	研究代表者	2021.4～2024.3
5	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	高齢入院患者のmobilityを促進する急性治療期の看護実践プロトコルの開発	研究協力者	2021.4～2024.3
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	IPW論	○	15	他職種の理解、チーム形成、リフレクションなどについて、体験を通して学ぶことができるように、ディスカッションには付箋アプリを使用し、事例検討、ゲストスピーカーによる講演などを取り入れた。（すべてオンラインで実施）
2	看護学教育論（大学院）		15	中堅看護師の実践能力育成とキャリア支援の現状と課題について講義した。受講者の教育計画立案・評価・模擬講義の指導を担当した。毎回授業に参加し、受講生とディスカッションをした（すべてオンラインで実施）
3	IPW論（大学院）		15	チーム・チームワーク、IPWの評価について講義し、学生によるIPWに関する事例発表のコメントーターを担当した。（すべてオンラインで実施）
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	看護過程論	○	16	紙上事例を使用し、ヘンダーソンの理論をもとに看護過程の展開について理解できるように、講義およびグループワークを行った。（前半はオンライン、後半は対面で実施）
2	看護方法Ⅰ（看護の基本技術）		16	授業計画に参加し、授業が円滑に進行するようにサポートした。学内演習のグループを担当した。（対面とオンラインで実施）
3	看護方法Ⅱ（日常生活援助技術A）		16	授業計画に参加し、授業が円滑に進行するようにサポートした。（対面とオンラインで実施）
4	看護方法Ⅲ（日常生活援助技術B）		16	授業計画に参加し、授業が円滑に進行するようにサポートした。（対面とオンラインで実施）
5	看護方法Ⅳ（診断治療の援助技術）		16	授業計画に参加し、授業が円滑に進行するようにサポートした。（対面とオンラインで実施）
6	看護方法Ⅴ（実践的看護展開）		16	授業計画に参加し、授業が円滑に進行するようにサポートした。（対面とオンラインで実施）
7	アカデミックリテラシー（編入生）		8	授業設計に参画し、研究論文のクリティークやディベートではグループを担当した。（対面とオンラインで実施）
8	看護学特別研究（大学院）		月1～2回	ゼミに参加し、指導補助として研究指導を行った。（すべてオンラインで実施）
9	看護学演習（看護学教育）（大学院）		15	ゼミに参加し、指導補助として文献の読み方や研究方法の指導を行った。（すべてオンラインで実施）
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア体験実習		2021.9-10	ファシリテータとして2グループを担当し、ディスカッションが活発に行われるようにサポートした。（すべてオンラインで実施）
2	基礎看護学実習Ⅰ	○	2022.2	2つの実習パターンが円滑に実施されるよう計画・調整を行った。（1病院は臨地実習とオンライン、3病院はオンラインで実施）
3	基礎看護学実習Ⅱ		2021.10	午前は病院で受け持ち実習を実施し、午後はオンラインで指導した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2021.4-2021.12	主指導 4名	副指導 1名
2	修士論文	2021.4-2022.3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 1名

(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	埼玉県立大学大学院修士論文審査 審査員	2021.10~2022.2	越谷大学大学院修士論文審査で副査を務めた。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	認定看管理者教育課程ファーストレベル第1回	東京都看護協会	統合演習 I	2021.6
2	新任副看護師長研修	独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 北海道東北地区・関東地区合同	ファシリテーションに関する基礎知識	2021.9
3	東京都看護協会教育研修	東京都看護協会	問題解決の考え方と方法を学ぼう!	2021.9
4	令和3年度キャリアラダー研修	越谷市立病院	ファシリテーション II	2021.9
5	人材育成事業	彩の国連携力育成プロジェクト	IPW総合課程	2021.8-12
6	人材育成事業	彩の国連携力育成プロジェクト	IPWカフェ (運営担当)	2021.8 2022.2
7	人材育成事業	彩の国連携力育成プロジェクト	実践者研修会: 緩和ケアIPW研修会	2021.9
8	看護研究指導	神尾記念病院	看護研究の基本と実践	2021.11- 2022.3
9	認定看管理者教育課程ファーストレベル第2回	東京都看護協会	統合演習 I	2021.11- 12
10	認定看管理者教育課程ファーストレベル	埼玉県看護協会	看護チームのマネジメント	2021.12
11	認定看管理者教育課程ファーストレベル第3回	東京都看護協会	統合演習 I	2022.1-2
12	2021年度全国キャラバン研修会・ジェネラルナースの技術力を高めよう	日本看護技術学会技術研究成果検討委員会	エビデンスに基づく移動動作の技	2022.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本健康教育学会	代議員		2018.5-2022.5
2	看護人間工学会	評議員		2019.5-2023.3
3	看護人間工学会	総務委員		2019.5-2023.3
4	日本人間工学会関東支部	第21期関東支部委員		2020.4-2022.6
5	日本看護技術学会	評議委員		2020.6-2022.11
6	日本人間工学会	第7期代議員		2020.6-2022.6
7	看護人間工学会	第3回学術集会長		2020.10-2021.10
8	日本人間工学会	人間工学戦略ロードマップ検討委員会委員		2021.9-2022.3
9	日本看護技術学会	日本看護技術学会誌への投稿論文査読 (2題)		2021.4-7
10	日本看護技術学会第19回学術集会	学術集会への演題査読 (2題)		2021.5
11	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	保健医療福祉科学への投稿論文査読		2021.6-9
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間

1	学生支援	看護学科3年担任長	2021.4-2022.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携部会	2021.4-2022.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	彩の国連携力育成プロジェクト（大学間連携運営連絡会議）	2021.4-2022.3
4	全学的委員会及びセンター業務等	彩の国連携力育成プロジェクト（職能団体との意見交換会）	2021.5、12
5	国際交流活動	JIPWEN活動ならびにWHO協力センターに関する群馬大学との活動窓口	2021.7-2022.3
6	大学広報活動	株式会社学究社ena「PROGRESS」別冊「合格ガイド」（株）インターエデュドットコム [®] の大学訪問記のページの取材対応	2021.8
7	該当なし	教員人事委員会資格審査委員	2021.10
8	該当なし	日本看護学教育評価機構評価委員	2021.10
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		